

2018 年 9 月 19 日

地震による線路補修後の徐行に伴う列車への影響について

平成 30 年 9 月 6 日未明に発生した北海道胆振東部地震により、多数の軌道変位や路盤変状が発生したため、線路の補修作業を行いました。そのため、レールとマクラギを支える砂利等が十分に締め固まり、列車が所定速度で走行可能となるまでの間、補修を実施した区間の一部で徐行運転を行っております。

これにより、列車の遅れや、他の列車への影響を小さくするため一部列車に運休が発生しています。

お客様にはご不便をおかけしますが、線路の状態を確認しながら徐行を解除してまいりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

1. 徐行を行っている区間と列車への影響

9 月 19 日現在

線 区	徐行区間	列車への影響
千歳線	沼ノ端～南千歳	・ 特急・普通列車に 15～20 分の遅延 ・ 札幌～小樽間の区間快速及び普通列車、 札幌～苫小牧間の普通列車 29 本が運休（部分運休含む）
石勝線	南千歳～追 分	・ 特急・普通列車に 10～15 分の遅延 ・ 千歳～追分間の普通列車 8 本が運休（部分運休含む）
室蘭線	遠浅～追分～三川	・ 苫小牧～岩見沢間の普通列車に 10～15 分の遅延

2. 徐行解除の時期について

軌道の検査を行い、線路の状態を確認し、順次徐行を解除してまいります。

(1) 千歳線・石勝線 …………… 10 月末を目途

(2) 室蘭線 …………… 数ヶ月程度

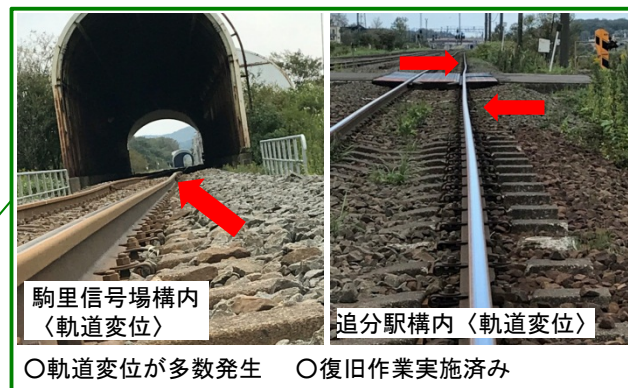
※ただし、余震などにより、軌道状態が変化した場合は、徐行期間を延長する場合があります。

北海道胆振東部地震による徐行及び運転中止区間

別紙



◆石勝線



◆千歳線



◆室蘭線

